



11月24日(土)からの2日間、樋脇町市比野で第15回市比野温泉よさこい祭りが開催されました。

今年は、過去最多の90チーム、延べ約1,500人の演舞者が、4つの会場で躍動感あふれるパフォーマンスを披露。イベントの最後に、出場チームがグリーンランド市比野ふれあい館会場に集結し、全員で総踊りを披露すると、場内は一体感に包まれました。

第15回市比野温泉よさこい祭り
「良き世さ来い」



11月25日(日)、丸山自然公園に新たに整備した人工芝グラウンドの完成を記念し、第1回福上産業杯キッズサッカーフェスティバルが開催され、市内外の小学校1年生から3年生までの児童20チーム、約200人の選手が参加しました。

当日は、天候にも恵まれ、選手たちは大好きなサッカーを存分に楽しんだ様子でした。試合会場となった人工芝グラウンドは、2020年開催の「燃ゆる感動かごしま国体」で、ホッケー競技の試合会場として利用されます。

第1回福上産業杯キッズサッカー
フェスティバル



11月2日(金)、市役所本庁で鹿児島県遊技業協同組合薩摩川内支部から薩摩川内地区防犯協会へ寄附金の贈呈がありました。

これは、近年、ドライブレコーダーが犯罪の抑止や事件の早期解決に大きな効果を発揮していることに着目した同支部が、その購入費用として防犯協会に寄附されたもので、今後、頂いた寄附金で、ドライブレコーダーを購入し、地域の青色防犯パトロール団体に貸与するなどして、防犯活動に役立てられます。

地域の防犯活動に役立っています



市内各地から
まちの話題
夜の川内駅前を光の海が美しく照らしました
(昭和通り)
平成30年12月7日撮影



11月29日(木)、薩摩よりみち風景街道協議会が市長を表敬訪問し、出水市、長島町から日置市までの全長約217kmの自然、歴史、文化などを紹介した観光マップを贈呈しました。

薩摩よりみち風景街道は、国土交通省が道路周辺の風景、自然、歴史、文化などの地域資源を生かすことを目的として登録する、日本風景街道に平成27年に登録されています。

「薩摩よりみち風景街道 景観・食・歴史の道 よりみちマップ」完成



▲株式会社ア・トスフーズ 代表取締役 小田原 浩氏(写真中央)

11月22日(木)、市役所本庁で株式会社ア・トスフーズ(本社：中郷町)との立地協定調印式が行われました。

冷凍焼き芋製造事業の拡大や、健康志向の弁当製造などのヘルスケア事業を新規展開するため、工場を増設するものです。

この他にも多くの新規事業の計画があり、今後、雇用の創出などに大きく貢献するものと期待されます。

株式会社ア・トスフーズと立地協定締結

◆政治家への道

代用教員生活を経て東京し、大学の夜間部で法律を学んだ實彦は、卒業後やまと新聞社の記者となり、特派員としてイギリスに約1年間滞留。国際的な感覚を吸収して帰国しました。

政治家の道を志した實彦は、明治45(1912)年、東京市議会議員麻布区に当選。政治家として活動を続ける一方、大正4(1915)年、30歳のとき、東京毎日新聞社の社長となりました。またこの年、衆議院議員総選挙への出馬を計画しましたが、選挙準備中に無実の罪で検挙・拘留される事態に。その後、無罪となりましたが、国政へ

◆総合雑誌「改造」発刊

第1次世界大戦以降、新しい政治思想や社会思想を求める時代の要請に応じるように、大正8(1919)年、改造社を設立。総合雑誌「改造」を創刊しました。

『改造』は、多くの新人作家を見だし、林芙美子や火野葦平などのベストセラー作家を生み出す傍ら、里見弴や志賀直哉などの著名な作家が寄稿し、出版界をリードする存在となりました。

また、『改造』の出版だけでなく、冊1円の『現代日本文学全集(円本)』の



▲「改造」第4巻第12号 大正11年11月号

◆再び国政へ

昭和5(1930)年、實彦45歳のとき、衆議院議員総選挙に鹿児島2区から立候補し、最高得票で当選。その翌年、川内川改修工事に着手し、故郷の水害対策に尽力しました。

また、母校・亀山小学校や、新設される図書館へ本を寄贈するなど、ふるさとの文化振興にも貢献しました。

次の衆議院議員総選挙には落選しましたが、改造社の運営に一層力を注ぎ、各国の要人や世界各地を取材した成果を改造社から出版しました。

また、昭和19(1944)年、「思想上不適当」として、『改造』は発売中止・廃刊となりましたが、終戦の翌年に復刊しました。同年



▲實彦筆「百難克服」



▲46歳頃の山本實彦

■川内まごころ文学館 常設展示室2 「改造社に残された 二百余名の直筆原稿の世界」

山本實彦の足跡と、『改造』に寄せられた近代文学者たちの直筆原稿・資料を展示しています。

【入館料】

- 大人 300円
- 小・中・高校生 150円
- *土・日曜日、祝日は、小・中・高校生の入館料は無料

【問合先】川内まごころ文学館 099-5580



▲亀山小学校「百難克服」の碑



特集 薩摩川内ゆかりの人
「百難克服」の人
山本 實彦

刊行や、アルベルト・アインシュタインなど、世界的な文化人の日本への招へいなど、数々の業績を残しました。

昭和5(1930)年、實彦45歳のとき、衆議院議員総選挙に鹿児島2区から立候補し、最高得票で当選。その翌年、川内川改修工事に着手し、故郷の水害対策に尽力しました。

また、母校・亀山小学校や、新設される図書館へ本を寄贈するなど、ふるさとの文化振興にも貢献しました。

に行われた衆議院議員総選挙で当選し、再び議員となりましたが、公職追放該当者に指定されて議員を辞職し、改造社社長という立場からも退くことに。5年後、ようやく追放は解除されましたが、昭和27(1952)年7月1日、67歳で生涯を閉じ、3年後、総合雑誌「改造」は終刊となりました。

昭和29(1954)年、亀山小学校に「百難克服」の碑が建立され、また、平成30年、實彦の遺徳をしのぶ有志が山本實彦顕彰委員会を設立。その功績をたたえる活動が続けられています。